

スマート水産業実証体制構築事業

阿部文彦・青木秀夫・鈴木康治¹⁾・宮口大平¹⁾

1) 農林水産部 水産振興課

目的

ICT, IoT, AI等の先端技術の活用により、水産資源の持続的利用と水産業の成長産業化を両立し、漁業者の所得向上ならびに若者の新規就業や定着を図るため、漁業者、水産関係団体、大学、県等の連携によるみえスマート水産業研究会を設立し、全国のスマート化に関する最新技術や先進事例の情報共有、新技術のフィールドでの試験導入などに取り組み、県内におけるスマート水産業の社会実装の促進に寄与することを目的とする。

方法

1 最新技術や先進事例の情報共有（研修会・シンポジウムの開催、セミナー参加）

全国のスマート化に関する最新技術や先進事例を調査し、関係者への情報共有や漁業者への普及啓発のための研修会やシンポジウムを開催するとともに、関連するセミナーに参加した。

2 スマート水産業の社会実装に向けた協議（スマート水産業研究会の開催）

生産・加工・流通・消費に至る水産業の一連のプロセスにおけるスマート化も視野に入れ、産学官の関係者がスマート化で目指す県内水産業の将来像についての議論を進めるため、スマート水産業研究会を開催した。

結果

1 最新技術や先進事例の情報共有（研修会・シンポジウムの開催、セミナー参加）

研修会の開催は3回、シンポジウムの開催は1回、セミナー等への参加は7回であった（表1）。

2 スマート水産業の社会実装に向けた協議（スマート水産業研究会の開催）

みえスマート水産業研究会委員による研究会を3回開催し、本県におけるスマート水産業等の展開に向けたロードマップ（令和3年度作成）の進捗確認を行ったほか、国の動向などについて情報共有を行った（表2）。ロードマップでは、ICTブイを活用した海洋環境のリアルタイム観測や予測など進展がみられたものがある一方、魚類養殖におけるAIを活用した自動給餌ではシステムの導入・維持管理の面などから現場普及に課題があるものもみ

られた。ロードマップは、現場における課題や新たな取組もふまえて見直しを行いながら、引き続き、県内水産業のスマート化の推進に向けた協議に活用していく。

表1. 研修会・シンポジウムの開催、セミナー参加実績

年月日	内容
2022. 5/17~18	第13回養殖場高度化推進研究センター(CAINES)セミナー参加(津市, 大紀町)
2022. 8/8	第1回スマート水産業技術研修会開催 (WEB: 参加者 48名) ・ブルーカーボン研究の現状と課題
2022. 8/25~26	第24回ジャパン・インターナショナル・シーフード・ショー国際水産養殖技術展参加(東京都)
2022. 11/12	地域漁業学会シンポジウム「沿岸漁業振興におけるIT&ICT技術の活用に関する検討」参加(WEB)
2022. 12/9	第2回スマート水産業技術研修会開催 (対面: 参加者 30名) ・ブルーカーボン貯留量の自動計測システムの開発による漁村の脱炭素・収益向上に向けた取組
2022. 12/19	シンポジウム「スマート水産業と衛星利用」参加(WEB)
2023. 1/17	第16回養殖場高度化推進研究センター(CAINES)セミナー参加(兵庫県)
2023. 1/27	令和4年度みえスマート水産業研究会シンポジウム開催(対面・WEB: 参加者 71名) ・(基調講演)ロボセンの研究開発とその適用事例、養殖場における餌補給船の研究開発 ・県内における水産業のスマート化に関する取組5講演
2023. 3/9	わかやまスマート養殖フェア参加(和歌山県)
2023. 3/10	マリンITワークショップ参加(滋賀県)
2023. 3/15	第3回スマート水産業技術研修会開催 (対面: 参加者 41名) ・ローカル5Gを活用したAI画像認識によるブリ養殖の効率化に向けた実証

表 2. 研究会の開催実績

年月日	内容
2022. 8/8	第 1 回みえスマート水産業研究会(WEB) ・国の新たな水産基本計画, デジタル水産業戦略拠点について
2022. 12/9	第 2 回みえスマート水産業研究会(対面) ・三重県版スマート水産業等の展開に向けたロードマップの進捗について
2023. 3/15	第 3 回みえスマート水産業研究会 (対面・WEB) ・スマート水産業研究会シンポジウムのアンケート結果について ・ロードマップの実績について ・令和 5 年度三重県におけるスマート水産業の推進に係る取組について